

自分の生き方を求め 今を大切にする
朝日中生を育成する

奄美市名瀬朝日29番地1
TEL 52-1195 FAX 53-5650
HP:http://www.city.amami.kagoshima.jp/asahi-j/

朝日中通心

生徒数 (令和2. 11. 24現在) 総数293名
1年95名 2年108名 3年90名

琢磨

主造律
自創規



強い気持ちで

校長 夏迫 満弘

「病は氣から」という言葉は、よく耳にする諺の一つです。寒さが身に染みるようになったこの時期、登下校する時間帯は、背中を丸くしながら小走りに温かい教室や家に向かっていている生徒の姿が見られます。

私が3年担任の時、入試を迎える気持ちの在り方として、生徒に「三つの力」の話をしていました。その三つの力とは「学力」「気力」「体力」のことです。いま朝日中の三年生も、自分の目標の実現に向けて一生懸命勉強に励んでいます。きっと、この正月もこれまでの正月とは違って、勉強を中心とした生活を送ることと思います。

つい先日新聞に、「波乱の大会 精神面に不安」というあるスポーツ記事が目に入りました。負けるはずがない相手に逆転負けを喫した本人は「気持ちのもつていき方で、ちゃんと準備しきれいなかった」と口にしていました。弱気になり本来の実力を発揮できなかったのが敗因でした。そこに、「いかに気持ちの大事かがわかったと思う」と監督の声がありました。

勉強に励む生徒全員にとって、これまでは学力中心でよかったのですが、日本の受験シーズンは環境的に寒いだけでなく、いろいろな感染症にも気を配らなければならぬ大変な時期にあります。受験は、ライバルとの闘いだけでなく、自分との戦いでもあるのです。

つまり、試験結果は、当日までの体調管理にかかっています。学力は今まで通りにやっていたらばそうそう落ちるものではありません。しかし、体力が落ちると気力まで落ち、自分のもっている力を100%出し切れず、悔やんでも悔やみきれない思いをすることになります。そうならないためにも、これからは健康管理・体調管理に気をつけることが一番です。適切な医療管理と併せ、強い体力や精神力と共に自分の目指す目標を是非つかみ取ってください。

奄美で継承される結の実践

十二月二日(水)〜十二月十一日(金)の間に生徒会の生徒が募金活動に取り組みました。最初に、全校朝会で取組について紹介し、生徒一人一人に募金箱を配付して、協力をお願いしました。

集まった募金は、一万九千七百七十四円でした。この募金は、生徒会の役員の方々が、金融機関に届けました。生徒玄関及び二階踊り場に募金に係る生徒会本部役員のメッセージが掲示されています。

生徒会本部役員メッセージ

皆さんが誰かのために役に立つために、買おうと思っていたアイスやゲーム機を我慢してくれたお金！それは、必ず困っている人たちの力になります。自分達が募金したお金が彼らに届くことを想像するとワクワクします。

私たちは、普段生活しているだけでは気付けない困っている人たちの姿に、募金活動を通して気付くことができました。そんな方たちの役に少しでも立てたんじゃないかと思えました。お互いに支え合うことで成り立っている社会。今回の活動を通して、私たちは社会の一員として、世の中に貢献することができました。私たちが「誰かのために」という思いで行動したこの気持ちをここで終わらせるのではなく、次に活かしていきましょう。

皆さん一人ひとりの思いを朝日中からのプレゼントとして困っている方々へ私たち生徒会役員が責任をもち、お届けします。募金をしてくれたみなさんにも素敵なクリスマスプレゼントがときますように。



大好き朝日校区、朝日中

毎年鹿児島県学校環境緑化・学校林など活動コンクールが実施されています。今年度優良賞を受賞しました。表彰は旧生徒会整美部長、副部長が大島支庁林務水産課長からいただきました。なお、県内十一校の受賞対象校のうち、2校のみ中学校であり、来年度地区の植樹祭で表彰式が行われます。



MOM実践

今月は、奄美群島日本復帰記念月間です。生徒会の役員が中心となり、各学級で復帰に向けた先人の思いや今私たちにできることや必要なことについて話し合いを行いました。歴史をみつめ、思いをめぐらし、向き合うことは、人権教育の基本姿勢MOMを実践していただきました。家庭でも話題にしてください。



本校では、十二月の登校時に復帰に関わる歌を放送しています。

長距離走は走り終わってみないと・・・分からない

長距離走を通して、最後まで精一杯頑張る精神力を養うとともに、総合的な体力向上を目的としてロードレース大会が実施されました。雨が降って欲しいと願う生徒が多くいるぐらい生徒にとっては、あまり好きでない学校行事です。しかしながら走り終えてみると達成感、やりきった感のある行事です。また、保護者や地域の方にとっては、元気をもらう機会となっています。PTA保体厚生部と浦上交番の全面的な協力をいただきながら、多くの保護者の応援をいただきながら実施することができました。ありがとうございました。



生徒の日記から

年中行事で多分1番嫌いなロードレース大会が終わりました。やりきった！苦手ながら一生懸命走りました！〇位でした。・・・母に伝えたら笑われました・・・が

「できる自分を見せることは気持ちいいけど、できない自分を見せることは恥ずかしい。でも〇番でもちゃんと走りきったあんたはえらい！」と言われ、久しぶりにジーンとききました。かっこええ！ありがとうお母さん！！

参加型の学習会で深く学ぶ

「拉致問題」が人権問題の一つであることを理解し、互いの人権を尊重し、「拉致問題」の解決に向けて一人一人が感心をもって考えることの大切さを知ることを目標に学習会を開催しました。

「人権とは」、「人権侵害とは」、「人権問題を解決するために誰もができることとは」などについて発表などを通して考えを深めることができました。その後アニメ「めぐみ」を視聴し、拉致問題について考えました。



生徒感想から

今回、拉致問題啓発アニメ「めぐみ」を視聴して、今まで聞いたことはあっても、拉致問題についての知識や理解がたりなかったもので、詳しい内容や知識を得られて良かったと思います。拉致被害者はもちろん、その家族、親戚などの身内の方々もはかりしれない恐怖や不安、心配、悲しみなどを抱えていたんだなと思うと、とてもつらい気持ちになりました。拉致以外の人権もそうですが、これらが起こる原因の一つに「どこか他人事のように受け取ってしまっている」というのがあると感じました。

今も人権侵害が起こっているのは、起こす人が「してはいけないこと」を分かっているからする訳で、その人が気付かないことには意味がないと思います。現実には、厳しいので「お互いを尊重する」ことができない人をどのようにしたらいいのかをしっかりと考える必要があると思いました。可能な限り、これは世界中の一人残らず知らないといけなと思います。人権をもっと身近に感じることができるといい世の中になってほしいです。

熱い戦い！成果につながるかが成功の鍵

ビブリオバトルとは、お気に入りの本を紹介し合う書評合戦です。発表者はおすすめの本を3分間で紹介します。観戦者が「最も読みたい！」と思った発表者の本に投票してチャンプ本を決めていきます。最初に先生方3名によるバトルが行われました。その後、5名の生徒によるバトルが続きました。ロードレースの前の1校時で、ジャージ姿のバトルになりましたが、バトル終了後、図書室の来室生徒、貸し出し数が増えたことから、本に関する興味が高まったのではないかと思います。冬休みを前に、貸し出し可能冊数が5冊になっています。冬休み前に必ず図書室に行き、読みたい本を選んでもらいたいと思います。選ぶ時には、ぜひバトラーの紹介した本も確認してみましょう。本校の図書室は、保護者や地域の方にも開放しています。冬休みを前に、図書室を覗いてみませんか？



バトラーの感想

最初はまだ、しっかり言えていたのですが、最後がボロボロですごく悔しかったです。でもこういう機会は、自分にとってのチャンスだと思ったので今回より上手にできるようにまた、ビブリオバトルに参加したいです。

観戦生徒から

今回のバトルを参観し、本を選び読みたくなりました。ありがとう。

1月学校行事 S C永田先生 12日、19日、26日 S C丸内先生 8日午後、29日午後

8日(金) 始業式 大掃除	16日(木) 市愛護センター合同補導
9日(土) 1年健康教室、チャレンジタイム	17日(日) 市民清掃
12日(火) 3年実力テスト	18日(月) 鹿児島まるごと味わう週間 市P連第3回理事会
13日(水) 1, 2年鹿児島学習定着度調査	22日(金) 給食教室
14日(木) 1, 2年鹿児島学習定着度調査	23日(土) 子どもと一緒に読書の日
15日(金) クリーン登校	